

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成26年9月11日(2014.9.11)

【公開番号】特開2014-52090(P2014-52090A)

【公開日】平成26年3月20日(2014.3.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-015

【出願番号】特願2012-194940(P2012-194940)

【国際特許分類】

F 24 F 13/30 (2006.01)

【F I】

F 24 F 1/02 401 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月30日(2014.7.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

第一熱交換器孔形状嵌合部31Aと第一熱交換器突起形状嵌合部3Aとを嵌合することにより背面筐体3に対して垂直方向の動きを抑制し、第二熱交換器孔形状嵌合部31Bと第二熱交換器突起形状嵌合部3Bとを嵌合することにより背面筐体3に対して平行且つ上下方向の動きを抑制している。それら二箇所の嵌合部で背面筐体3に対して垂直方向及び平行方向の動きを抑制することにより、熱交換器30の右側が前方に倒れ込むことを抑制している。

また、背面熱交取付板32の一部である背面熱交嵌合部32Aを覆うように熱交換器リブ形状嵌合部3Cを嵌合している。さらに、第一熱交換器孔形状嵌合部31Aと第一熱交換器突起形状嵌合部3Aとを覆うように熱交換器30の側面に熱交換器側面カバー10を組み付けている。それらによって、熱交換器30の壁に対して平行且つ左右方向の動きを抑制している。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

以上のように、背面熱交嵌合部32Aを覆うように熱交換器リブ形状嵌合部3Cを嵌合し、熱交換器30の側面に熱交換器側面カバー10を組み付けることにより熱交換器30が壁に対して平行且つ左右方向に動くのを抑制できる。

また、背面筐体3から熱交換器取付板31(右)の内側と接するように突設された突設板3Dに、図3における、互いに間隔の開いた第一熱交換器突起形状嵌合部3Aと第二熱交換器突起形状嵌合部3Bのような位置に、背面筐体3に対して平行且つ左右方向に突起した形状の嵌合部を少なくとも二つ設け、熱交換器取付板(右)31のそれらに対応した位置に孔形状又は凹形状の嵌合部を設ける。それらを嵌合させることにより、背面筐体3に対して垂直方向の動き及び平行且つ上下方向の動きを抑制できる。

背面筐体3に対して垂直方向の動き及び平行且つ上下方向の動きを抑制することによって、熱交換器30が前方に倒れ込むことを抑制でき、背面筐体3からの浮きも抑制できる。